

まちの元気人



池田 裕さん
(川袋／57歳)

川袋川の匂いが
染み込んできたかも？

創立から45年、秋田県のサケ稚魚放流事業をリードする川袋鮭漁業生産組合で稚魚のふ化・飼育を主に担当する池田さんは、経歴約30年のベテラン。春から秋にかけては農業、秋から春までは稚魚の世話と、季節ごとに兼業し、晴耕雨読のうらやましい生活を送っています。

秋、サケを採捕し、採卵・受精・ふ化させる。冬期間は飼育。春に放流。これが概ねの仕事です。私がこの仕事に就いたのが昭和57年ころ。川にそ上（採捕）したサケは300尾を下回りました。放流数は今とほとんど変わらず、足りない分、他から移入していました。現在、秋田県一のそ上数を誇る川袋川ですが、27、8年前はそんな状態の年もありました。去年は3万7千弱、ここ数年は2万から5万の間で推移しています。4百万匹以上放流して、この成績。海で漁業者の網にかかるものも相当あるから、まずまずといったところでしょうか。



組合の仲間たちと

ここはいいところですよ。海岸近くながら、ちよつとした盆地で、小さな清流と山里の風情。生まれてからずっとここ、川袋暮らしの私の体には、帰るサケが覚えているという川袋川の水の匂いが染み込んできたかもしれません。(笑)

川袋川の水の良さ、豊かさがサケの帰帰に影響していると言われますが、丈夫な稚魚を育てることが大切なことです。卵の質を落とさないよう、採卵する親も丁寧に扱う。稚魚の成長に気を遣い、水槽の流れを調整する。稚魚放流を体験する子どもたちには、自然や生命の尊さと同時に「親を大事にすること、子ども立派に成長する」と、それを伝えたい。

私の生活は農業とサケの稚魚養殖で支えられています。天気の悪い日は好きな読書を楽しむ。司馬遼太郎が好きですが、農業関係の実用書など、何でも読みます。

丈夫な稚魚を…

サケの生態。春、3〜4月に放流されたサケは鳥海山の雪解け水、伏流水が育むプランクトンを餌に成長し、その後、オホーツク海を経由し北太平洋を回遊。逆のコースを辿りふるさとの川に帰ります。この間が大体4年。水の匂いを頼りに帰るといいます。

Nikaho Topics

Jへの夢は続く！

ブラウブリッツ
～ BB秋田 JFL 2010 最終戦
& にかほ市大感謝 DAY！ ～



横山聡選手の同点ゴール

TDK SCから移行したBB秋田のJFL（日本フットボールリーグ）今季最終戦が、11月28日、仁賀保グリーンフィールドで、ホンダロックを相手に行われました。試合は1対1の引き分けに終わりましたが、時おり冷たい雨が降る中で、熱いゲームとなりました。

BB秋田としての初シーズンは、14勝9分11敗の勝ち点51で8位（全18チーム）でした。



2010シーズンを終えた選手たち

この日は「にかほ市大感謝Day」と銘打ち、市内の小・中学生やチームカラーの青い服装で応援すると観戦が無料となったほか、豪華賞品が当たる抽選会、選手考案メニューによるBBグルメグランプリなど、多彩な催しで市民、応援団を迎えました。

試合終了後のセレモニーでは、今季で引退する選手4名からも、サポーターへの感謝とJリーグ参入を目指すチームを、さらに多くの方々に応援してほしいと願うメッセージが伝えられました。その後、観客を選手全員握手で見送り、市民、サポーターともにJリーグへの決意を新たにしたりした一日でした。

ブラウブリッツ
BB秋田を応援しよう！
にかほ市サッカー協会公式ブログ
<http://fa-nikaho.com/>



第41回全県レディースバレーボール大会

【優勝】象潟クラブ



第60回本荘由利秋季柔道大会

個人有段者の部

【優勝】越川 俊さん



(秋田県立大2年・十二林2区)

市長杯争奪第4回にかほ市
男女9人制バレーボール大会

【優勝】平沢

【準優勝】関・建石

【第3位】上郷、鳥の海

農林水産大臣感謝状

農林水産統計業務

(永年協力者)

鈴木 高男さん(田 抓)

(特別協力者)

三浦 俊治さん(琴 浦)



チビッコ美術館

じよづずにできた！

星城保育園 雪の組(年長)

♪もついくつねるとお正月♪
おり紙やちよ紙で飾りつけをして
「お正月リース」を作りました
新しい年がくると
ぼくたち、わたしたちも
一年生になります。

